



北区エバンジェリスト検証授業②

小6

思考ツールで問題解決に迫る！

袋小学校・小形和史先生の社会科の実践

袋小学校6年生社会科「武士のくらし」の単元で、話し合いを効果的に進めるために、ロイロノートの思考ツールを活用した授業を参観しました。

▶思考ツールを使い分けられるために

「思考ツール」とは、ものごとを考える際に、分類する・比較する・構造化するなどの考えを整理して見えやすい形で表現するための手法です。ロイロノートには、たくさんの種類の思考ツールが付属しており、小形先生は児童が目的に応じて思考ツールを使い分けられるように、これまで計画的に授業に取り入れてきたそうです。



児童はロイロノートの思考ツールを使いこなしている。

思考ツールは友達の考え方も理解しやすいので、見せ合うことで、考えの違いなどに気が付きやすくなります。

▶個人学習は家庭で行い、学校ではグループ活動を中心に

武士の暮らしが描かれた絵から、気が付いたことを書き出す個人の活動は家庭学習で行い、その時間をグループ活動に充てて、深い議論を実現しています。家庭学習の難しさは、児童全員がやってこない授業が成立しないことですが、学習内容に興味があれば、みんなしっかりやってくるものなんだと、改めて学習意欲の大切さを感じました。

▶話し合いが活発になる仕掛け

話し合い活動がとても活発なことに驚いたので注意深く見てみると、とてもよく配慮がされていることが分かりました。特に、記録係や発表者など、必要な児童以外は「きたコン」を開いていないのです。その指示がないと、「きたコン」をいじってしまい、話し合いに参加しなくなってしまうことが多いのです。

他にも次のような指示が見られました。

- ①話し合いの流れを掲示する。
- ②進行係を決める。
- ③グループの人数は4人までにする。



話し合いに集中する児童。

▶児童の振り返りより

グループの学習問題の方向性が決まったら、グループごとに発表を行いました。他のグループの発表を聞くことも大切な学びです。

振り返りでは、

- ・「ひとつのシンキングツールにみんなの考えが集まるから、頭の中が整理できて人の話を聞き取ることができました。」
- ・「シンキングツールを使ったことで、話し合いがスムーズに進んだ。同じ意見や似たような意見をまとめるのが簡単で、話し合いを進めやすかった。」



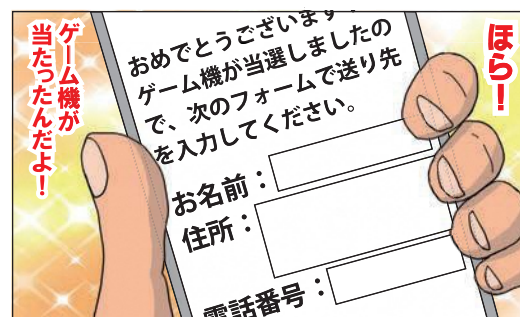
グループごとに話し合った内容を発表して全体で共有する。

1枚の絵から児童は様々な気付きをし、話し合いを通して意欲的に学習問題につなげています。「きたコン」が児童の学びを支えるツールとして活躍していることを実感した素敵な授業でした。

「北区GIGAスクール通信 みらい」は、北区立学校における北区ICT環境を活用した取組や家庭と連携する取組等について、保護者や地域の皆様に向けて、学び未来課が毎月発行いたします。

きたちゃんコンちゃん

by Toshi



個人情報に 気をつけて!

- ・名前
- ・電話番号
- ・住所
- ・学校名
- ・メールアドレス...

個人情報とは、その人が誰なのかを特定できる情報で、他の人には知られたくないものです。知らない人に個人情報を教えると、悪い人がその情報を使って、だまそうとするかもしれません。悪い人は、あの手この手を使って個人情報を取ろうとしてきます。自分や家族の身を守るためにも、ご家庭でもお子さんに個人情報の大切さを具体例をあげて話してあげてください。